

景氣觀測に關する限界

室 政 太 郎

序

近時我國にも景氣觀測所の續出するありて、之の未曾有の恐慌裡に於て之が研究の盛んなるは宜なるかなである。古き恐慌論はさておき『恐慌を全一體としての景氣循環過程に組入れ、且つ恐慌を以て經濟生活の波狀變動に於て不斷に反復さるる所の様相の一として把握すべく一大努力を拂つたのは』^(註1)佛人クレマン・デュグラ^(註1)氏であつた。之の個人的研究を皮切に、更に進んで勿論幾多の個人的研究はあつたが一九一七年バースン、バロツク兩氏を指導者としてハーバード大學經濟調査委員會（普通にハーバード研究所）が設立された。斯る近代的設備を誇る、科學的研究所の特徴は「其處に存在する如き極めて難多な努力を一體として見る事が許されるならば、——經濟生活は、大體一の機構として尨大なる機械として觀察し、その運行を數學的計算的方法の助けにより、結局一の單一公式に纏め得る様に記述し、又豫め確定し得るものと見る點である。従つて斯る單一公式、一般的指數又は單一バロメーターの探究は特にアメリカ的研究の特質をなすものである。人々は攪亂の要素を除却し消去する事により、斯

る公式を得んとするものである」^(註2)次で一九二〇ロシヤに景氣變動研究所の設立さるるあり、更に超えて二五年ドイ

ツ景氣研究所の設立ありて斯界は長足の進歩をなし遂げるに至つた。之のロシヤ、アメリカ兩研究所の特徴を挙げれば『ドイツ景氣研究所も、其の研究の最も重要な手續上の基礎の一として數學的方法の利用を踏襲してゐる。

併し乍らドイツに於ては他の國々の研究方針とは本質的に異なる研究方針が發展した。即ち若しアメリカの景氣變動研究の態度を技師的態度と云ふ事が許されるならば、そして又ロシヤの研究を天文學的性質と稱して太過なしとすれば、ドイツ景氣研究所は、いはば醫學的原理いなりよくは有機的生物学的原理による觀察を代表するものと云へる。この原理に於ては國民經濟は一の有機體、その生命の發露は決して一點よりは解し得ない所の有機體として現れる云々』^(註3)即ち其の原理は二つの假設を含む。即ち

一、經濟の凡ゆる部分は緊密なる函數的結合をなし、それらは固有の法則に従ふ所の完き體系を形造る。

二、外部よりの働きかけは——それが非經濟的領域より生じたものであらうと、他の經濟體から起つたものであらうと——觀察されたる經濟的有機體に固有の合法的運動を惹起せしめる所の刺激として働く。^(註4)

以上記述する所によりて吾人は世界景氣觀測研究の諸方法に付き知るを得たが、更にバースン氏は一九三一年にアナロジカル、メソツドを提唱した。之は即ち「歴史は繰り返す」と云ふ事の應用である。即ち現在に於ける狀態に近き類型を過去に求めて景氣の豫報をなさんとするものであるが、之が採用によりて景氣の回復を以て一九三一年の二月又は三月より初まる事を豫言し、之が失敗に歸した事は吾人の知る所にして、現在の如き變轉極まりなき

複雑なる非常時經濟の秋に際して斯る歴史的類推法の適中性に期待をかけ難き事は注意を要する事である。斯くして米國にてはハーバード大學の信用が失墜したと傳へられてゐる。勿論彼のホブソン氏による一九二九のバニツク豫言の適中は見事なるものであつたが、之は彼の第六感によるものであらう。斯くして今や景氣豫報は反省の時代に入つて居り更に有効なる因子の發見が叫ばれてゐる。

(A)註の「1より4迄はワীগン原著、小島昌太郎監修譯の景氣變動論中よりの抜粹なり」

(B)景氣豫報の限界に關しては「經濟往來」九月號、中山伊知郎氏の論文あり。

本 論

かのオーギュスト・コント氏が實證主義を提唱して、現象は一般的法則の探究に専念する實證的階段であるとなし、人間は事實と其の相互の關係のみを研究するものとしたのであるが、實際に斯の如き科學の水準に到達してゐるのは數學、星學、物理學、化學、生物學等の所謂、自然現象たる類型的現象にして統計的方法による集團現象社會的現象の研究には尙ほ限界の有する事は明白なる事實である。

今之處に試みにハーバードのパロメーター體系を擧ぐるに、先づ景氣を反映表徴すると目さるる所の項目を擧げ之の統計數列の比較研究を行ひ、之より景氣循環を攪亂する所の變動(株價の四季による騰貴及び長期の變動を除き去して循環運動)を示す數列に關し、其の運動の時間的前後の類似するものを集めて各々三つの指數を作成する。

即ち

- 1、二十鐵道會社の株價
- 2、十二工業會社の株價
- 3、十鐵道會社の社債利廻
- 4、建築許可されたる建築物の價格合計
- 5、ニューヨーク手形交換所の交換高
- 6、取引所に於ける賣買の證券高
- 7、銑鐵の生産高
- 8、地方手形交換所交換高
- 9、輸入金額
- 10、ユー・エス・スチール會社の注文受高

以上の數列より投機、商業、金融の三曲線（各數列は正確なる波狀の循環を示す事及び數列の波狀運動は時間的前後なる點を除きて悉く同型に屬してゐるのである）を作成し、之の三曲線の運動の時間的前後關係を確立する事によつて、即ち投機と金融との運動を觀察し、之により商業の運動（即ち景氣線）の豫報をなさんとするにある。即ち之の三曲線間の所謂相關係數（之が算出方法は複雑多岐なり）を求むるのである。即ち各人の知り得る所のも

- 11、破産者の債務合計
- 12、ブラッドストリートの物價指數
- 13、勞働局物價指數
- 14、鐵道會社收益
- 15、ニューヨーク銀行の準備金
- 16、主要工業會社の配當金
- 17、ニューヨーク諸銀行の借入金額
- 18、ニューヨーク諸銀行の預金額
- 19、四ヶ月六ヶ月商業手形の割引率
- 20、六十日九十日、商業手形の割引率

のは相關關係であつて因果必然の法則ではないのである。而して前述の如き長期の趨勢的變動、季節的變動、及び不規則的變動の除去により始めて一定の循環運動を示すと説くのであるが、之の性質、之の測定方法の困難なる事は勿論である。(之の點に關しては中山氏、論文參照)

然らば獨逸の研究方法是如何。ワージェマン氏著小島昌太郎譯前掲書によれば「只包括的な當該國民經濟の現實型に妥當せる諸系列組合せの組織によつてのみ嚴密に劃された限界内に於て確實なる景氣變動の診斷が可能となる。かゝる組織を構成するに當つて經濟運動は相互に依存するものであり、相互に函數關係に立つものであると云ふ考に私は立脚する」云々。之處に中山氏の論文を借用してワージェマン式を評するならば「前略それは根本に於てハアバアドと同じく歴史的類推の原理に立つ凡ゆる景氣研究所の觀測構造を通じて云ひ得る所であるのみならず、更にハアバアドの方法に新に緊張の原則を加へる事によつて景氣指數に新なる型を生み出したドイツ研究所の方法についても又妥當する。即ちドイツ研究所も大體に於てハアバアドの三曲線に示された原則即ち時間的繼起の原則を採用するのであるが、その外に更に之の緊張の原則が加へられる。之は問題となれる觀察事實が均衡的狀態を離れる程度に關する原理であつて、其は共に波狀の循環運動をなす二の數列が一定の時點に於て運動の方向を異にする場合になり立つものである。

景氣の段階は之の原則に基いて、一、積極的緊張(好景氣)二、積極的緊張の解消(清算期又は恐慌)三、消極的緊張(不景氣)四、消極的緊張の解消(回復期の四に區別される故に之の原則が景氣觀測の上に有する意義は極

めて大であると云はねばならぬ。けれども、之の原則が實際に景氣觀測に彼立つたためには斯る緊張關係の成立並びに解消が必ず一定の法則に従つて行はれる事を前提する必要がある、之の爲めには更に溯つて各數列に於ける完全なる波狀循環の存在並びに波狀運動の振幅に關する一定條件の存在（例へば比較される二つの曲線について、A曲線の振幅は必ずB曲線のそれよりも大であると云ふが如き）を假定せねばならぬ。而して、之等の假説が容易に承認し難き事は以上ハアバアツドの方法について述べた所と異らないのである」結論へ急がう。之を要するに今日の狀態にては吾人未だ景氣豫報（國內的にも國際的にも）については餘り期待し得ないのである。